

(仮称)つくし野自治会館建設についての説明会概要記録

日時 2018年11月25日(日)10時から11時50分

場所 つくし野コミュニティセンターホール

参加者 72名(1.2丁目 29名、2丁目 16名、3丁目 15名、4丁目 9名)

市議員 園城由久、細野龍子、友井和彦

説明者 建設委員会鶴養委員長から、建設委員会の検討状況とこれからの計画を説明(約30分)

提出資料 自治会館建設委員会の検討状況とこれからの計画(案)

(仮称)つくし野自治会館Q&A

自治会館建設費比較検討資料

つくし野地区周辺自治会館の収支について

参考イメージ 平屋 2階建て

質疑内容

問1 他の自治会館の収支、他についてお聞きしたい。

1. 建設時期、2. 建設費用 3. 面積、部屋割り 4. 自治会負担金 5. 利用者

回答： 各項目について説明したが、質問者が細かい数字の提示をもとめ他の出席者からそこまでの数字の提示が必要なのかとの声があがったが、質問者から「ふれあい基金から、5,000万円も拠出する内容なので提示が必要」とのことで説明を続行。

自治会館によって、コンセプトが違うので収支が赤字の会館もあれば黒字の会館もある。各自自治会館からすべての資料が入手できていないので、質問に対して回答できない内容もあり、後日、別途、回答する。

支出については、30年間、土地を借りられるので固定資産税も不要。事業費としては、30%が管理費、30%が水道、光熱費、30%が人件費とみている。これらの費用を賄うのにどの程度の設備にしたら良いのか検討した結果、中規模の会議室を1、小規模の会議室を2程度とすれば健全な運営ができると判断している。大事な事は「使い勝手のよい」自治会館を作って高齢化社会に見合う会館を目指したい。芙蓉会からは、そのような会館ができるなら各種教室を呼び込んで年の90回程度、利用したいという有難い申し出もある。

問2 基本的に自治会には、負担を求めないということで宜しいでしょうか？

回答：負担がかからないよう最大限努力することが前提で基本的には、負担を求めない。

問3 詰め”が甘いところがあるので、今回は見送って次回のほうがいい。市には約200以上の会館があり、200㎡超で商業としてやれるところが13ある。中規模が35ある。この35を調べ黒字のところもあると思うので、いい作戦があれば取り入れてもらいたい。赤字にならないようにするという精神論だけでなく、黒字になるか赤字になるか金銭的な内容は、経理のプロに相談されたら？自治会の負担がこのくらいになるといつてもらえると安心できる。

回答：後日、回答します。

問4 会館を使っていない人から言うと、あなたがたは、会費で安く使っているんだらうという見方もあるので、多数の人が納得するようなデータを整理してからにしては？

回答：貴重なご意見、参考にします

問5 ふれあい基金を使うならもっと多くの人の意見を聞くべきである。

1丁目の人たちは、この自治会館建設には反対の人が多くとおもいます。

回答：12月にアンケート調査を実施し、その結果をもとに4月の総会に諮ります。

問6 30年後の建て替え時期になった場合、その費用は？減価償却費を経費の中に入れるべきでは？

回答：自治会館によっては、建て替え費用を積み立てているところもあるしそうでないところもある。建て替え時に、充分ではないが市の補助金も使うことができます。